



2020年 3月期 第2四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2019年11月8日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2020年3月期 第2四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第2四半期 (累計)	増減
売上収益	7,040	6,825	▲ 215
営業利益	3	▲ 81	▲ 84
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲ 441	▲ 185	+256
資本合計	671	955	+ 284
純資産比率	6.7%	9.5%	+ 2.8%

■ 売上収益

- 情報機器は増収となったものの、音響機器およびその他セグメントの減収により、全体として▲ 215百万円の減収

■ 営業利益

- 前年同期は介護記録システム事業の譲渡益+294百万円があったことにより、当第2四半期（累計）は▲ 84百万円減益となったが、売上総利益率増加、販売費・一般管理費の削減により一過性要因を除いた個別開示項目前営業利益では改善
- 第2四半期（7-9月）で、+163百万円と増益、黒字化（前年同期▲ 12百万円）

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

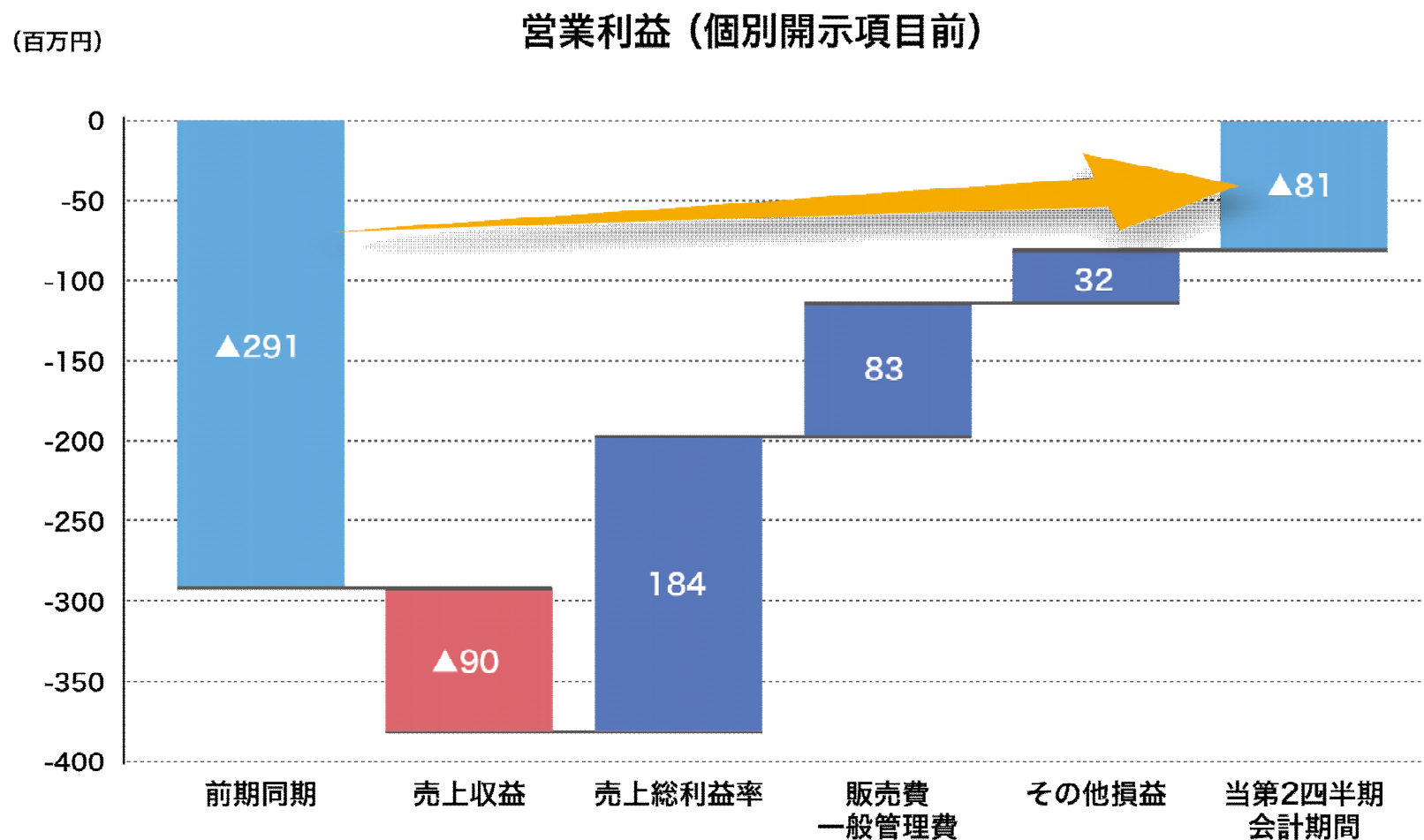
- 営業利益は減少したものの、金融費用等の減少により、親会社の所有者に帰属する当期利益は+256百万円改善
- 第2四半期（7-9月）で、+76百万円と増益、黒字化（前年同期▲ 148百万円）

■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に671百万円であった資本合計（純資産）は、当第2四半期末は955百万円と+284百万円増加し、純資産比率も9.5%と+2.8%改善

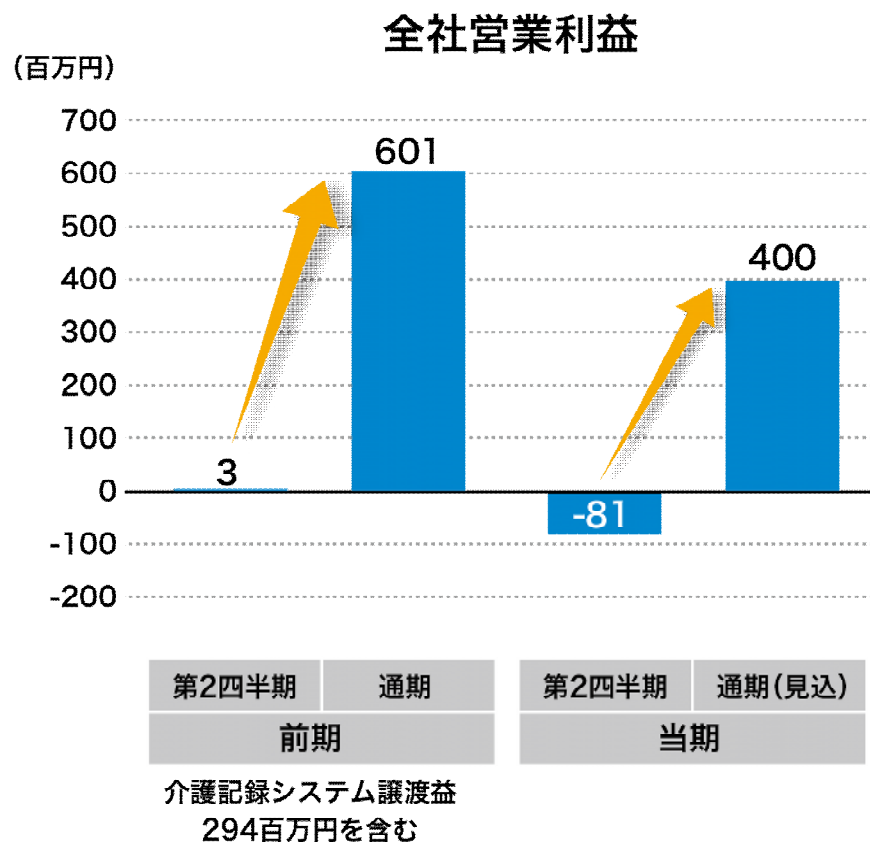
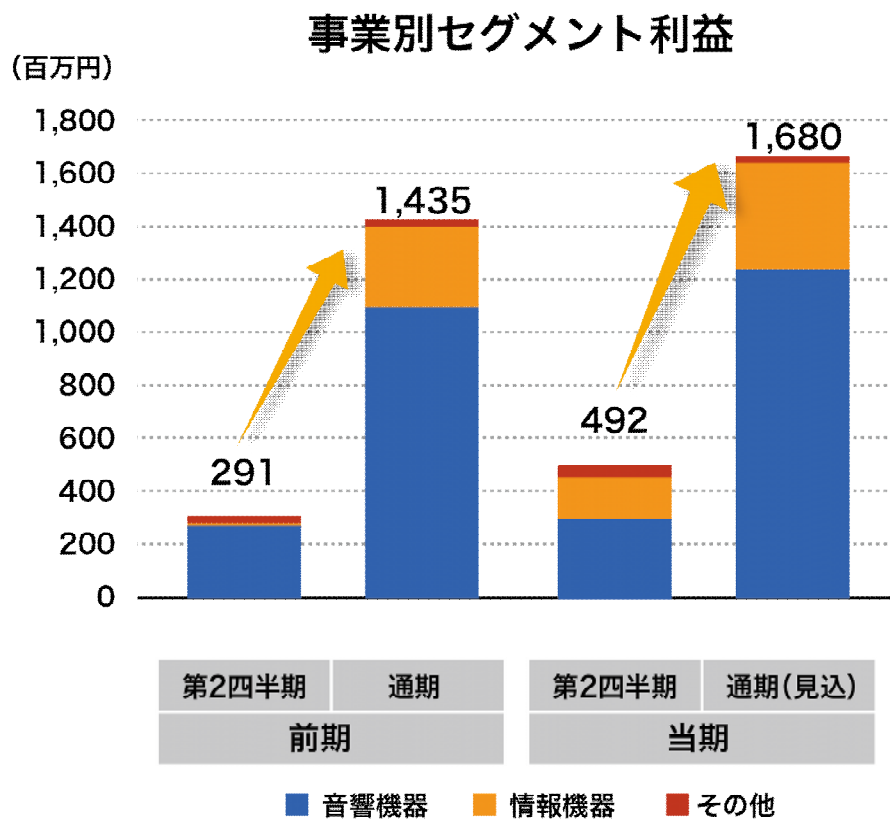
営業利益（個別開示項目前）

- 本業の業績を表す営業利益（個別開示項目前）は、音響機器事業の減収にて売上総利益が減少したものの、全社での売上総利益率の増加、販売費・一般管理費の削減により前年同期比で改善

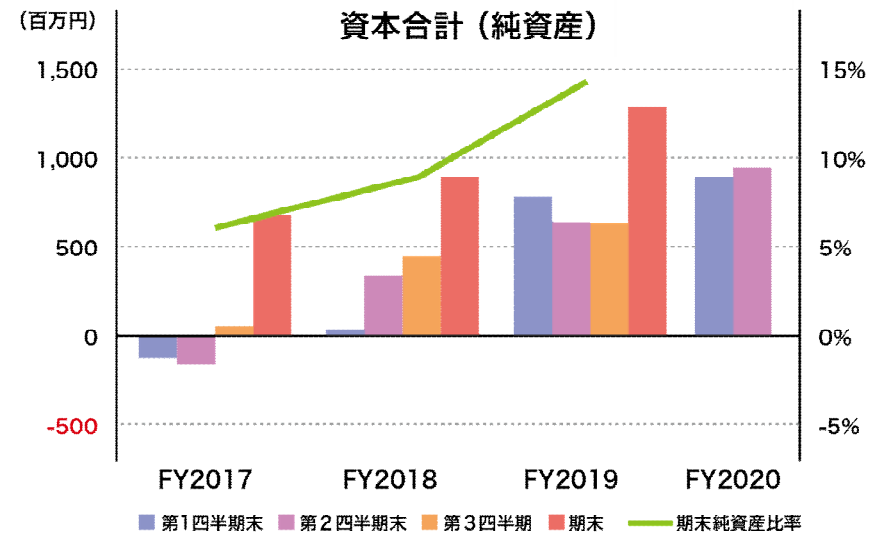
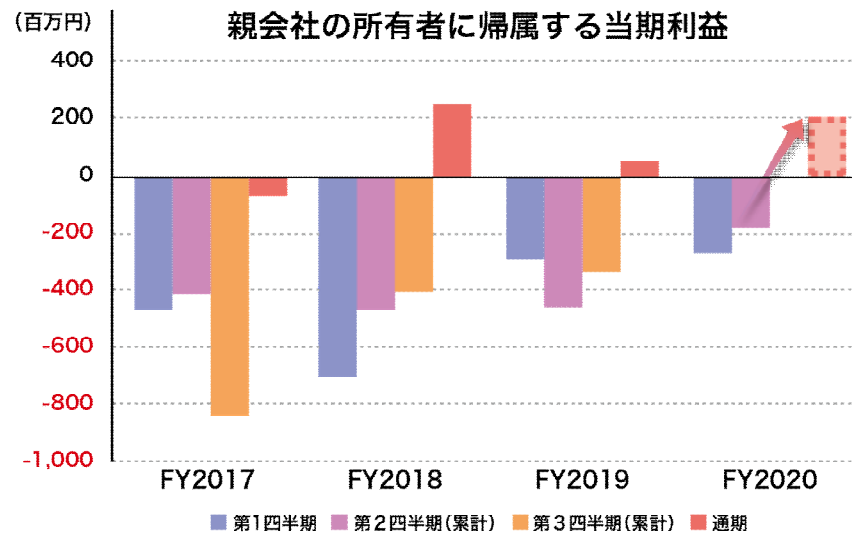
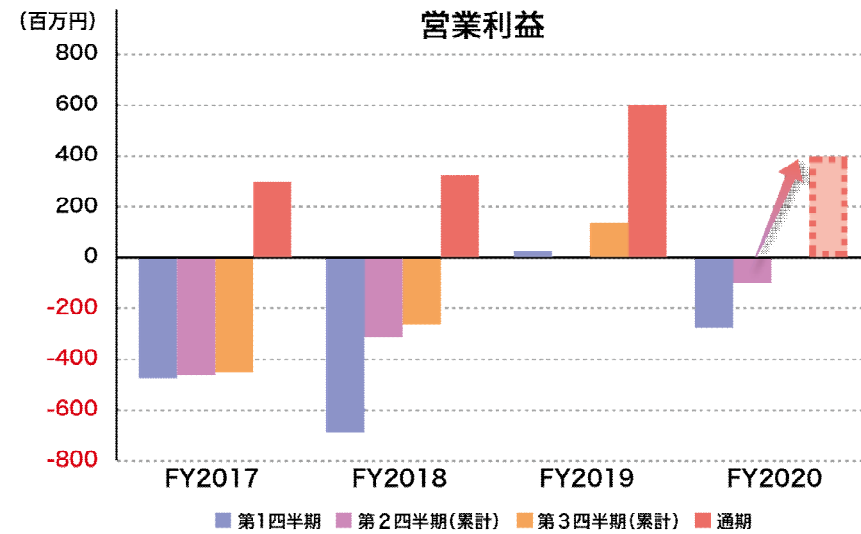
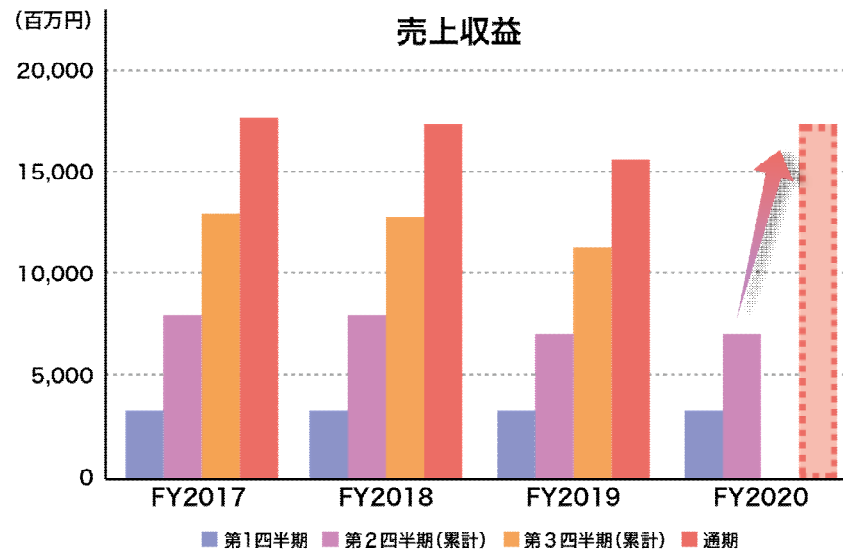


事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- 音響機器：第2四半期（累計）で減収だが増益、新製品の投入、BtoB事業へのシフトにより、通期増益を見込む
- 情報機器：増収により第2四半期（累計）で増益、通期増収増益を見込む
- 全社営業利益は、前年同期は介護記録システム事業の譲渡益があったため当第2四半期（累計）で減益だが、本業からの営業利益は通期で増益を見込む



売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



トピックス 1

■ハイエンドオーディオ機器



Super Audio CD Player 『Grandioso K1X』

TWO REVOLUTIONS - INTEGRATED

エソテリックが16年ぶりに新しく設計したトランスポートメカニズムのVRDS-ATLASと、クロックドライバーやロジック回路、コンデンサーといった要素によって1チャンネルあたり32のエレメントで構成したMaster Sound Discrete DACの両方を搭載した一体型プレーヤー『Grandioso K1X』を9月に販売開始いたしました。

今回の新しいXバージョンは、電源部も大幅に強化され、音色に更なる深みを加えています。

■音楽制作・業務用オーディオ機器



『 Model 16 』

16トラックレコーディングミキサー『Model 16』を2019年9月に発表いたしました。

昨年発売を開始したModel 24は、アナログミキサーならではの直観的な操作性と本体のみで完結できる24トラックのマルチレコーダーやUSBオーディオインターフェース機能などで、発売以来世界中で大変ご好評を頂いております。

今回発売となる『Model 16』は、Model 24の遺伝子を受け継ぎながら16トラックとすることで、サイズダウンを実現。ライブ、レコーディングはもちろん、オプションのラックマウントキットを併用することで、リハーサルスタジオやイベントスペースの常設ミキサーとしても十分ご活用いただけるレコーディングソリューションです。

トピックス 2

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器



『 SERIES 102i 』 『 SERIES 208i 』

2019年7月、業務用オーディオブランドとして40年以上に渡り培われてきたオーディオ設計のノウハウを惜しみなく投入したUSBオーディオ/MIDIインターフェースの新製品『SERIES 102i』および『SERIES 208i』を発売いたしました。

24bit、192kHzのハイレゾ録音をサポートするSERIESオーディオインターフェース・シリーズはMac、Windows、およびiOS機器に対応。これまでTASCAMが培ってきたオーディオ性能を大幅に強化しました。

さらに、iZotope社とのコラボレーションにより、同社のNeutron Elements ミキシングソフトウェアのバンドルを追加。プロ品質の音楽制作を行う様々なユーザーへの合理化されたより良いワークフローソリューションの提供が強化されました。